





分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・所内ではプラスチック、ビン類、缶類、キャップ、紙などは分別収集のうえ、リサイクルに取り組んでいる。 ・当所の自動販売機の製品をできる限り、プラスチック容器から瓶、缶に変更している。 ・当所周辺の道路を含め、街路樹清掃を実施し、ごみの散乱、周辺環境の美化に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車の運転はエコ運転(急発進・急加速・急ブレーキ・暖機運転の中止など)を行い、「運転日報」に走行距離を記載し、消費状態を管理している。 ・2021年度より毎年主要エネルギーの計算をしており2025年度は前年度より約7%の減少となっている。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・自社で使用したプラスチック、ビン類、缶類、キャップ、紙などは分別し廃棄、リサイクルに努め、温室ガスの発生を抑制している。 ・電気・ガソリンの取り組みに加えて、エアコンのフィルター清掃を事務所2週間に1回、会議室4週間に1回は行っている。 ・電気・ガソリンのCO2量は2025年度より1.875t-CO2減少している。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・当所の自動販売機の製品をできる限り、プラスチック容器から瓶、缶関係に変更している。 ・レジ袋などを使用しないように指導し、使用削減に取り組んでいる。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・資料、案内書などの紙はできるだけ分別のうえ、情報漏洩につながるものはシュレッダーにかけ、他は裏紙として使用し、最後に新聞紙を含めて資源として排出している。 ・資源有効利用促進法(小型家電リサイクル・PCリサイクルなど)に従って実施している。 ・【環境汚染予防】に記載した内容に準じている。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・当所で使用する地下水は水質検査を行っている。 ・洗い場の蛇口に散水器を取り付け、できるだけ水量を減らし、こまめに蛇口を止め、節水に取り組んでいる。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.5 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・消耗品・備品の購入はカタログでエコマーク商品(グリーン購入法)、PEFC、FSC環境配慮型を積極的に購入している。 ・車両などの購入・レンタルをする場合、適切な排気ガス規制車を選定している。 ・PEFC(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes: 森林認証制度相互承認プログラム)認証のコピー用紙、段ボールはFSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会)認証を受けたものを使用し、植林・森林整備活動を支援している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・会議用弁当・飲み物について、持ち帰りを推奨している。 ・懇親会の宴席では、食事タイムを設定し、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2					6.4						12.3		14	15			17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15				17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・当所の自動販売機の製品をできる限り、プラスチック容器から瓶、缶関係に変更している。 ・レジ袋などを使用しないように指導し、使用削減に取り組んでいる。 ・会議などで提供する飲み物について、プラスチック容器から缶に変更している。												12.2 12.5		14						
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2			

